



川西 絹子 議員 (民主)

公園管理について

①区には約250の区立公園と児童遊園がある。公園の植栽の具体的内容について伺う。  
②16か所の公園では、専門の業者に維持管理を委託している。公園の樹木管理の水準が上がるように民間業者を指導しては。③公園の新設や改良には、どのような設計思想でみどりの樹種、割合を考えているのか。とりわけ植樹を選ぶ際の基準、常緑樹と落葉樹の樹種選定の比率は。④企業や学校、地域の力を借りて公園の維持管理の充実を図ることについての考えは。⑤剪定した樹木を堆肥として生かす、新しいみどりのリサイクルを構築しては。

働により公園のみどりが守られるよう働きかけをしていくなどだ。⑤その仕組みが実現可能かと今後協議していく。

防災・環境保全のための品川の森づくりについて

①森を公園等の公共施設に造成していくことは、環境再生や防災の面からのまちづくりに、みどりと触れ合いの場所づくりの面からも必要と考えるがいかがか。②公園にみどりを増やす、公園の森構想の実施計画を。

都市環境事業部長

①②公園のみどりは震災時の大規模火災を遮断する効果が実証されている。また、森をイメージする公園として整備することとは、子どもたちの情操教育の場を確保する上でも貴重な財産になる。提案の趣旨を活かした魅力ある公園づくりを進めていく。

高齢者が安心して暮らせるための施策の更なる推進について

①高齢者住宅を増やすために企業等の単身者住宅を購入して活用しては。②シルバー人材センターは昨年度の行政刷新会議の事業仕分けの評価結果で平成22年度国庫補助が

16・2%削減され、事業運営等に困難を生じている。⑦補助金を削減することなく、引き続き支援することに区の考えは。⑧国からの予算削減は最小限に抑えるよう要望を出すことに区の考えは。

区長

①ケアホームなど高齢者施策全体としてみれば転用の可能性もあり、検討の余地はあるが、従来タイプの高齢者住宅については既に一定の基盤が整備されているので、購入の考えはない。②今後とも支援を充実させていく。

リサイクルと生ごみ処理について

①再生利用促進や適正処理は自治体負担が重く、今後の大きな課題だ。リサイクルできる品目の拡大とともに、その費用削減について取り組みが必要と考えるが今後の方針は。②生ごみの加水分解処理は設置コスト等が安いことなどにメリットがある。食品リサイクル法で規制し、年間100トン以上の食品廃棄物を排出する事業者に働きかけることも必要だ。今後の区の考えは。

都市環境事業部長

①技術の進展などを踏まえながら、品目の拡大について検討する。今後効率的な体制を推進するとともに、区民や事業者への発生抑制の視点から積極的な普及啓発を実施するなどだ。②加水分解処理を導入している事業所の把握に努め、先進的な取り組みの事例として区内各事業所に紹介していく。



浅野 浩之 議員 (公明)

品川区の各種ホームページについて

導入する必要性は低い。④要望を聞き、情報の効果的な発信ができるよう、支援方法の検討などに取り組む。⑤簡易型のホームページを作成できるマイページ機能等を十分に活用できるよう支援していく。

地図の情報化の推進と区民への提供について

①土木管理支援システムなどの情報システムや地図に展開できるデータ、位置情報を含むが地図に展開できないデータ、単なる画像データとして保管しているデータについて、それぞれの現状は。②地図データを一括して管理する統合型GISを早期に構築してホームページで地図として提供するなどしては。③地震防災マップ制作の進捗状況等は。④区が維持管理している設置物を統合型GISにて管理し、破損を発見した場合、状況をメールなどで区に簡単に送信できるようにしては。

企画部長

①地図情報システムは5件、地図に展開できるデータと位置情報を含み地図に展開できないデータはそれぞれ20件程度、画像データとして保管している数は10件程度だ。②サービス向上の面で有効だが、多額の費用や運用面での課題もある。引き続き調査研究を進める。③総合的な防災マップについて検討しているところだ。④設置物へのQRコードの貼付なども含めて調査研究をしていく。

障がい児のためのデジ教材書の採用について

①文字や図形等を拡大した拡大教材書の活用を含めた教科書バリアフリー法の対応状況は。②文字に音声同期させて読み上げることが可能にしたマルチメディアデザイン版教科書の採用に向けた検討状況は。

教育次長 ①拡大教科書は平成19年度から配布を始めた。学習効果を上げることに役立っている。点字教科書は対応の用意をしている。②指導上の効果が見込める一方で、利用上の課題もある。改良や改善の推移を見守っていく。

荏原町駅周辺の課題について  
①荏原町駅南側の三間通りと仲通りとの角地の共同化の進捗状況は。②4月に開園予定の(仮称)グローバルキッズに注意を喚起していく。

採択し、報告を求めた請願について  
平成22年第3回定例会で採択し、区長に報告を求めた請願について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。

高齢者が安心して住み続けられるための支援に関する請願  
区では、今後の高齢化の進行や一人暮らし高齢者等の増加を踏まえ、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、介護のサービィーネットとして特別養護老人ホーム等を八潮南中学校跡に、また、多少心身が不自由になっても、住まいを中心に介護サービィーや医療サービィー・見守り機能を付加した高齢者住宅を都営大井町アパート跡に整備してまいります。

さらには、杜松小学校跡に、特別養護老人ホーム等高齢者福祉施設の整備検討を進めてまいります。